

ホルンと彫刻のコラボレーションによる、新しい空間の創造

ホルンと彫刻の調べ 2017in熊本

～プログラム～

シューマン：アダージョとアレグロ

クーチーニ：ロマンツァ

ブヤノフスキー：スペイン

中原達彦：ホルンとピアノのための
「月光のもとで聲を聴く」

中原達彦：ハレルヤ！

他

※曲目は都合により予告なく変更される場合も有ります。
予め御了承下さい。



ホルン 日高 剛



ピアノ 三輪 郁



彫刻 片山博詞

2017年10月1日(日)
14:00開演 入場料:無料

熊本機能病院地域交流館

熊本市北区山室6丁目8-1 お問合せ:096-345-8111(代表)

主催：熊本機能病院 協賛：社会福祉法人寿量会特別養護老人ホーム天寿園

「熊本地震復興を祈念して 片山博詞彫刻展～彫刻に触れ つながり 紡ぎ合う～」

2017.8.11[金・祝]ー10.28[土] 観覧時間 9:00～20:00 会期中無休 観覧無料

社会福祉法人寿量会 特別養護老人ホーム天寿園 〒861-4125 熊本市南区奥古閑町4375-1 TEL 096-223-0533

※9月24日(日)～10月1日(日)は、熊本機能病院に一部の作品が移設展示されます。



ホルン
日高 剛

宮崎市出身。長崎大学経済学部を卒業後、東京藝術大学にてホルンを学ぶ。1996年よりオランダ・マーストリヒト音楽院に留学。ホルンをE.ベンツェル、W.サンダース、守山光三、山田眞、田原泰徳の各氏に師事。帰国後、2000年広島交響楽団に入団。その後、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団を経て、2005年NHK交響楽団入団。2013年まで同団ホルン奏者を務めた。ホルンアンサンブル「つの集団」、The Horn Quartetメンバー。宮崎国際音楽祭、霧島国際音楽祭、草津国際音楽アカデミー&フェスティバルに参加。2009年にはドイツ・オストフリースラント夏の音楽祭に招待され、ソロ、室内楽を演奏。モーツァルト作曲「協奏交響曲」のソリストを務めるなど好評を博した。現在、邦楽器とホルンの共演や、「ホルンと彫刻の調べ」と題した演奏会を開催し音楽と美術のコラボレーションを試みるなど、多彩な演奏活動を展開するとともに、全国各地でワークショップを行うなど後進の育成にも力を注いでいるホルン奏者である。2013年4月より東京藝術大学准教授。洗足学園音楽大学客員教授。国立音楽大学非常勤講師も務める。2012年フォンテック社よりソロCD「Variation for Horn」、2015年カメラータ・トウキョウよりソロCD「HORIZON」(レコード芸術特選盤)、2013年ビットマップ社よりEtudeCDホルン「コップラッシュ60の練習曲」、2014年「ペローリ8つの練習曲」をリリース。公式ホームページ <http://hidaka.commoto.jp>



ピアノ
三輪 郁

今、もっともウィーンの薫りを伝え得ると思われる日本人ピアニスト 三輪 郁はウィーン・フィルの首席奏者たちから大きな信頼を得ており、コンサートマスターのライナー・キュッヒルなど首席奏者達と度々共演。さらにベルリン・フィル首席奏者マニュエル・パユ(フルート)、ラデク・パボラク(ホルン)などとも共演している。代々音楽家の家系に生まれ、優れた音楽環境の中で育った三輪 郁は、幼少期からピアノに親しみ、桐朋女子高等学校を経て、ウィーン国立音楽大学及び大学院に学んだ。そして、満場一致の最優秀で修了し、オーストリア政府からその業績が表彰された。その後はイタリアのフィナーレ・リグレにおける「バルマ・ドーロ」国際コンクールにおいて審査員全員一致で第一位に選ばれたほか、ドイツ・ドルムト国際シューベルトコンクールや浜松国際ピアノコンクールなどでも入賞している。ウィーン楽友協会・ブラームスザールやウィーン・コンツェルトハウスでのコンサートのほか、NHK交響楽団や新日本フィルなど日本のオーケストラのコンサートマスター、首席奏者たちの室内楽コンサートでの数多くの共演を通じての音楽的信頼も厚い。ウィーン時代のモーツァルトに焦点をあてたコンサートシリーズ『4254日の奇蹟〜ウィーン・モーツァルト』を企画開催し、大きな注目を集めた。その一方で、テレビ番組化されたドラマ『のだめカンタービレ』(フジテレビ)をはじめ『のだめ』関連のピアノ音楽監修、さらにエッセイを出版するなどその活動は多彩を極めていく。古典から現代における幅広いレパートリーを持つピアニストとして、今後一層の活躍が多いに期待されている。



彫刻
片山博詞

1963 熊本県鹿本郡植木町(現熊本市北区)に生まれる。田底小学校、田底(現植木北)中学校を卒業。
1982 熊本県立済々黉高等学校を卒業。その後、長崎大学卒業、上越教育大学院修了。
2000 第32回日展(東京都美術館)、および、2003年第35回日展(東京都美術館)にて特選を受賞。
2004 第38回現代美術選抜展(文化庁主催)に招待出品。全国巡回。
2006 「片山博詞彫刻展-祈りの形象 新しい意味を紡ぐ-」(福岡市美術館)開催。
2008 第42回昭和会展(日動画廊)にて「日動美術財団賞」受賞。作品買上。笠間日動美術館に収蔵。
2011 ホルン奏者日高剛さん(東京藝術大学准教授)と「ホルンと彫刻の調べ」を開始。現在まで6都県で開催。
2012 筑前琵琶奏者寺田蝶美さん(師範)と「彫刻と筑前琵琶で紡ぐ夕べ」(福岡アジア美術館)開催。
2014 JR直方駅前「大関魁皇」像を設置。触れて鑑賞できるモニュメントとして注目を集める。
" 地域文化に関わる活動実績が評価され、福岡文化連盟より「青木秀賞奨励賞」が授与される。
2015 「片山博詞彫刻展-見えるものと見えないものの間(はざま)で-」(直方谷尾美術館企画展)開催。
2017 「片山博詞彫刻展-触感を通して我々は何かを共有し新しい世界と出会う-」(フィランソレイユ笹丘)開催。
現在 日展会員 日本彫刻会運営委員 福岡県美術協会会員 福岡文化連盟会員



「ホルンと彫刻の調べ」2011 末永文化センター大ホール(福岡市)